

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

ICTを活用して文書の電子化をすすめたり、また会計業務のデジタル化やオンライン化を推進するなどして、自社での業務の効率化をはかると共に、資源の保全に寄与する。
また顧客である関与先の同技術の導入を推進し、地域経済の発展を推進する。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	電子ファイルソフトの導入により、ペーパーレス化を推進する。	コピー用紙の社内購入枚数(月平均) 2023年 → 2026年 15%削減
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	会計業務への電子技術の導入によって業務を効率化し、紙資源や移動のための石油エネルギーを削減する。	顧問先へ、会計システムのクラウド化等の推進を行う 導入件数(3年間) ～2023年 89件 → ～2026年 50件
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	事業承継・相続の相談に応じ、地域の継続的経済活動の維持や地域の活性化に寄与する。	法人・個人事業者の事業承継やM&Aの支援、相続税の相談・申告 支援・受注件数(3年間) ～2023年 22件 → ～2026年 25件

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。**(例:採用の人数:2023年○人→2026年○人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

社会保険労務士、弁護士、司法書士、会計ソフト会社、金融機関、生命保険・損害保険会社等と連携し、様々な相談に応じている。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	電子ファイルソフトの導入により、ペーパーレス化を推進する。	コピー用紙の社内購入金額 2021年 → 2022年 10%削減 → 2023年15%削減 → 2024年 20%削減
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	社内で電子ファイルソフトの導入を行ったが、まだ大部分で紙での出力が残っており、移行の途中である。 また期間中に購入金額単価が値上げされたため、期間目標未達成となった。	コピー用紙の社内購入金額(月平均) 2021年 → 2022年 6.4%削減 → 2023年 10.3%増 → 2024年 11.4%増
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	会計業務への電子技術の導入による業務の効率化を行う。 電子決済機能の導入による紙資源や移動のための石油エネルギー削減	顧問先へ、会計システムの銀行信販受信機能や電子納税システムの推進を行う 推進件数 50件
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	顧問先に向けて会計ソフトのクラウド化、電子納税機能、マイナンバーのクラウド保存機能の導入を推進し、目標を達成できた。	会計システムのクラウド化等の導入件数 89件 (2021年11月～2024年10月)
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	事業承継・相続の相談に応じ、地域の継続的経済活動の維持や地域の活性化に寄与する。	法人・個人事業者の事業承継やM&Aの支援、相続税の相談・申告 支援・受注件数 30件
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	八代市民向けの広報誌や、提携事業者からの紹介などを活用し、顧問先以外にも依頼が寄せられた。相続申告が必要ないケースもあり、申告まで至った件数としては、目標未達成となった。	M&A支援 1件 相続税申告 21件 合計 22件 (2021年11月～2024年10月)

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。
・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。
・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。